

熊中

クールないかした生徒
 マナーを守る(礼儀をわきまえた)生徒
 ニーズがある(必要とされる)生徒
 シーンを創れる場面を演出できる生徒

校長室だより
 第 10 号
 北九州市立熊西中学校
 校長 江口 恵子

すべて無事に宿泊行事が終了しました

最後を締めくくった農泊体験

九月二十九日(火)〜十月一日(木)、最後の宿泊行事として、二年生が熊本県阿蘇郡小国町で、農家民泊体験学習を実施しました。

この学習は、農村における農業体験や宿泊体験を通して、私たちの命の源である農業の苦労や喜びを知り、人や自然とふれあうことをねらいとしています。

今年、約四・五名ずつの二十五の農家に分かれて、それぞれ寝食を共にしながら、農作業を行いました。その間、先生方は、すべてのグループの活

動の様子を見て回りました。



私も同行させてもらいましたが、ほうれん草・バジル・ブルーベリー・栗・あずき・とうもろこし・しいたけの収穫、栗拾い、いも掘り、にんにく・白菜など野菜の苗植え、ピザ・団子・漬け物づくり、田舎料

理、稲刈り、草刈り、まき割り、魚釣りなど、実にバラエティに富んだ活動をしていました。



でも、共通していたのは、みんな笑顔で、とても楽しそうに働いていたことです。きつと心にもたくさんの収穫ができたことでしょう。その証拠に、どの農家にうかがっても、二年生の素直さや明るさ、礼儀正しさをほめていただきました。

この農家民泊体験学習のスローガンは、「自然を感じ、人とふれあい、大地の恵みに感謝しよう!小国

うるるん体験記」でしたが、まさにそれを実感することができたようです。

また、心配していた天候にもなんとか恵まれ、予定どおりの行程を経て、大きなけがや事故もなく、全員が

整然とした生徒会立会演説会・投票



九月二十六日の土曜日授業で、生徒会役員の立会演説会・投票がありました。

シルバーウィーク前後、二年生の農家民泊体験学習前の選挙運動となり、期間は十分にとれませんでした。でも、たすきとポスターの

無事に帰ってこれたのも大きな収穫でした。

これで、今年の宿泊行事は、全学年ともすべて終わりました。最後を飾るのにふさわしいものになったようです。

制作、朝の門立ち、給食時間の演説放送など、各学級一丸となって取り組みました。

立会演説会当日は、立候補者・応援演説者、そして聴衆の態度、いずれもすばらしいものでした。

結果は、以下のとおりです。今後、よき校風が受け継がれていくよう願っています。

- 会長 成富 匡啓二二三
- 副会長 吉田 有輝二一一
- 〃 鈴木 華梨二二三
- 書記長 松尾日菜子二一一
- 〃 寺田 夕夏二一一